

地域のできごと

R2.11

坂城町農業クラブが町内の保育園等に果物を贈呈しました

リンゴ、ブドウの収穫真っ只中の10月2日に、坂城町農業クラブ（会長：丸山佳氏）は町内の4つの保育園と幼稚園に、会員自らが丹精込めて作った果物（秋映、シャインマスカット、ナガノパープル）を届けました。これは地元の食や農業に関心を持ってもらい、理解を深めてもらうことを目的に食育の一面も持つ恒例の行事です。

会員11名が参加し、園児372名分のリンゴやブドウを直接手渡しました。シャインマスカットは知名度が高く、園児でも知っているなど人気の高さを再認識しました。

今年は9月中下旬より急激に温度が下がり、秋映は熟期が遅れ、当日に間に合うかやきもきさせられました。ブドウは一部で病害の恐れがあったが、無事乗り切ることができ、粒肥大もよく良好な出来でした。

直接手渡すことで園児たちの天使のような微笑みやお礼の言葉をいただき、会員もほっこりした気持ちになりました。なお、今年はコロナ禍での開催であったため、今まで行われてきた質問コーナーや園児たちの歌やダンスの可愛らしい御礼などの交流は省略し、短時間での実施となりました。



ナガノパープルについて説明



リンゴ、ブドウを園児に手渡す